

日米仏PTSの国際連携バリウスリンク会議

1/3

メーカー都合から、**ユーザー主導の開発**に切り替える「国際バリウスリンク会議」＝世界の複数のメーカーや公的機関による連携・打ち合わせ（公開）で、特許技術の進捗情報を共有し、国際競争力のあるインフラや製品を確立する。

現状の地域活性化策（地方創生・スタートUP・再開発等）は、基本的には企業都合の提案であり、培ってきた技術の範囲＆設備の流用を考え、狭い範囲の技術内容であり、真に**ユーザが欲しいものを追求していない。**

ステッパーで世界市場を席巻していたニコンが、ASLMに負けた要因は「技術を自社内で囲おうとしたこと」で、元ニコンのステッパーの開発者の弁「ステッパーに関する広範囲な分野の技術を自社内だけでやろうとしていたので、リソースが足りなくなった、苦しかった。」

全体主義国のウイグル自治区での強制労働による太陽光パネルの安値攻勢に対し、企業単独で戦った東芝日立パナソニックが撤退・リストラし、日本市場を奪われた。

全体主義国より強い体質

使いやすさ
& 低コスト

「最先端の特許技術」を多くの企業の力を結集し、ユーザーの意見を聞きながら、また法整備を進めながら、誰でもが欲しがるものを開発・提供する、

Golden
TTM株式会
社に引き継ぐ

楽しく取り組む
遠慮と批判厳禁

使う側の気持ちを最も大切にする。

将来の技術
シナリオに基
づき新しい
流れをつくる

ユーザー利益最優先

PTS技術及び用途の概要

日米仏共同出資のPTSの普及を統括する会社を日本に設立する
高市・トランプ・マクロンの名から「GoldenTTM」と命名、27年1月～
(社長は2年交代で日米仏から輪番)

GoldenTTMがPTSに関する技術的課題や世界普及状況を管理。

(随時)

研究開発知財会議

GoldenTTM 株式会社 **案**

名誉会長:トランプ大統領、マクロン大統領、高市総理大臣

国際バリウスリンク会議

統括戦略会議(各機関の業績評価)

経産省(司会)

全体会議(月一回)
第1金曜日午後2時～
(終了後自腹打ち上げ)

欧米PSC研究連合: Swift Solar / Oxford PV等と国際共同アライアンス

AI技術(自動制御+)

再エネ総合技術

サブホストメーカー
オープンAI社

米国代表

サブホストメーカー
Schneider Electric

欧州代表

ホストメーカー
積水化学

アイデア提供
ガーデンフィールド

情報公開・会議準備・資料保管

幹事会(国際バリウスリンク会議の3日前)

各国の合計は
優に100社を超える

常任

内閣府 経産省 国交省 環境省 外務省 東京都 AIST FREA CEA-INES NREL UNIDO

日欧米ペロブスカイト先端ディープテック企業を含む

東京電力 パナソニック First Solar Enel Green Power 日米仏(欧)の関連メーカー

非常任参加

大阪府 京都府 福岡県 北海道

全企業で全技術を共有する

(各国にて足りないところを補い合う)

米国内の企業はどこでも、オープンAI社が認めれば参加できる。欧州内の企業はどこでも、Schneider Electric社が認めれば参加できる。全体のシステムのどこか一部でもよく、事前に計画書を提出し、何らかの形で貢献し、かかった経費の自己申告をすれば、かかった経費の最低でも1.2xを受け取ることができる。新しいシステムを導入した結果効率が大幅にUPした、あるいは画期的な特許を取得できたとなれば、最大経費の30xを受け取ることができる。

PTS特許技術資料

本システムの開発研究にかかった費用をすべて、Golden TTMに申告する。(事前計画書の提出)

Golden TTMは申告各社の業績評価(特許取得等を考慮)を実施、各社でのかかった経費の1.2~30xが支払われる。Golden TTMが仕向け地ごとに価格設定する。

https://www.garden-field.com/_files/ugd/954e39_5ad708cc36324a509617fb5f1b924035.pdf

第一回官民バリウスリンク会議(10月2日)

オープニング挨拶(高市総理)

1. 日本におけるペロブスカイトツリー型太陽光発電システム(PTS)の普及・法整備方針(経産省)
2. 太陽光追尾と強風時の退避のAI自動制御システムとマニュアル操作時の会話による意思伝達システム(OpenAI社)
3. 日米欧ペロブスカイト先端企業アライアンス(積水化学 × 米Swift Solar / 欧Oxford PV等)による相互特許共有と超低コスト量産ロードマップ(積水化学)
4. PTS特許技術の概要説明と国際特許取得計画説明 (ガーデンフィールド)
5. 欧州域内におけるPTS導入普及計画と全協力会社の紹介(Schneider Electric社)

参加任意

千円徴収の打上げ会(～17時)

第二回官民バリウスリンク会議(11月6日)

オープニング挨拶(小池都知事)

1. 米国市場におけるPTS導入普及計画と米国内全協力会社の紹介(First Solar社)
2. PTSの全体の基本構造・ひな形図面の説明(日本代表:パナソニック)
3. PTSの全体の基本構造・ひな形図面の説明(欧州代表:Enel Green Power)
4. PTSの全体の基本構造・ひな形図面の説明(米国代表:First Solar)

会議後、直流(DC)配電・パワコン規格の標準化を含み3社で協議し、最適な標準形を決定し、パナソニックが次回発表。

5. 木造人工島のブルーカーボンの特許説明と世界のカーボンニュートラル2040年頃達成の技術シナリオ説明(G.F)

参加任意

千円徴収の打上げ会(～17時)